

5月 May

■第18回新川さくらフェスティバル音楽祭

- ・平成30年5月12日(土)
- ・札幌サンプラザコンサートホール

地域住民の手による新川さくら並木の植樹を記念して、新川さくら並木連合町内会と新川地区緑化推進協議会が主催する音楽祭です。平成10年4月の植樹開始から20周年の節目を迎えた今回の開催は、常時満席で立ち見ができるほどの大盛況となり、区内で活躍する合唱団や吹奏楽団の演奏に客席からは惜しみない拍手が送られました。



■幌北小児童が日赤奉仕団幌北分団と花植え

- ・平成30年5月16日(水)
- ・札幌市立幌北小学校周辺

幌北小学校の3年生児童が、日赤奉仕団幌北分団のメンバーと、同校周辺のます花壇に花苗を植えました。同分団では、花を植える活動を通して、より良い地域を作ろうとする子どもたちの心を育てようと、この活動を30年以上続けています。参加した児童は、同分団のメンバーに土の掘り方やかぶせ方などを教わりながら、花苗を植えました。



■ゴミ拾いウォーキング

- ・平成30年5月21日(月)
- ・旧琴似川河川敷

篠路地区の高齢者が、ボランティア活動などを通じて地域社会への参加意識と生きがいを実感しながら、互いに絆を深めていこうと活動している「篠路チョボラ会」が主催しました。約30名の参加者は、同会が植樹した桜の開花を楽しみながら、冬の間に河川敷に散乱してしまったごみを一つ一つ丁寧に回収していきました。



■「北区食生活改善推進員養成講座」開講

- ・平成30年5月28日(月)
- ・北保健センター

地域に食生活改善の輪を広げていくボランティアの育成を目的として、北区食生活改善推進員協議会の協力のもと、北区が開講する講座です。第42期生となる9名の受講生は、栄養の知識や食品衛生、調理実習など全6日間の講義を受けました。また、平成30年度は、昭和51年度から始まった同講座の修了生が1000人に達し、記念すべき年になりました。



6月 June

■カラダにえ～よ～展

- ・平成30年6月2日(土)
- ・北海道大学北部食堂内

若年層に対して健康意識の啓発の機会や専門的な健康情報を提供しようと、北大祭の期間に合わせて北区健康・子ども課と北海道大学大学院教育学研究院の体力科学研究室が共催しました。会場内には、さまざまな健康測定のコーナーなどが設置され、来場者らは、保健師スタッフに測定結果について相談するなど、自身の健康状態を確認していました。



■和光小で亜麻の授業

- ・平成30年6月8日(金)
- ・札幌市立和光小学校

亜麻を通したまちづくりに取り組んでいるあさぶ亜麻保存会が、和光小学校の4年生児童を対象として、亜麻の授業を行いました。これは、地域の歴史を学ぶ総合的な学習の一環として行われたもので、繊維の採取に適した一年草の亜麻「青柳」^{あおやなぎ}の茎を乾燥させた実物を見せたりしながら、麻生という地名の由来となった亜麻工場の歴史などを説明しました。



■篠路小児童がボランティア団体と花植え

- ・平成30年6月8日(金)
- ・札幌市立篠路小学校

地域住民と交流しながら花を植え、自然や命を大切にすることを育もうと、篠路小学校の3年生児童が、「秋桜 地域を花でかざろう会」、「札幌北更生保護女性会篠路分区」とともに花植え活動を行いました。両団体が種から育てた約100株の花苗が用意され、児童たちは、両団体のメンバーに植え方を教わりながら、プランターに花苗を植えました。



■新琴似西ふれあいウォーキング

- ・平成30年6月30日(土)
- ・新琴似西地区

地域住民の健康づくりの促進と住民同士の交流を深めることを目的に、新琴似西連合町内会女性部が主催したものです。参加者らは、約8キロメートルのコースを約2時間かけて歩き、コース途中の安春川沿いや屯田防風林の風景を眺めながらウォーキングを楽しみました。

